

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	やまがた工芸の会		
事業名	やまがた工芸～集う・交流する・美しき手仕事たち～		
助成事業区分	協働助成助成事業(一般型) 県政課題部門 地域公共ネットワークの維持・活性化に資する活動の促進		
団体の 所在市町村	長井市	事業費	523,559円
		うち助成金額	500,000円
事業実施期間	令和6年5月29日～令和6年11月21日まで		

事業目的・実施内容

(事業目的)

鉄道ネットワークは地域の足として、また、観光振興にも不可欠なものであり、さらに今後のエネルギー問題や環境問題などに鑑みれば、利用拡大や交流人口拡大に取り組むとともに、住民の機運醸成を図る必要があります。このため、郷土の自然と歴史に培われた文化「工芸」を鉄道沿線の資源と捉え、置賜・村山・最上の地域を鉄道でつなぎ、作品の鑑賞にとどまらず、工房のたたずまい、工芸家の思いなどを感じる体験を提供・発信することで鉄道利用を働きかけました。

(実施内容)

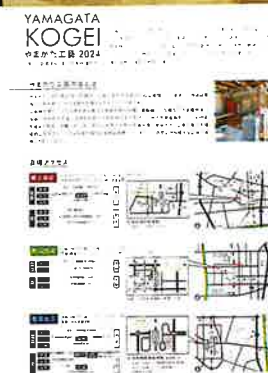
鉄道利用のメリットを感じられるよう一定の距離の移動を想定し、奥羽本線(山形新幹線)の米沢・山形・新庄の各駅近傍の施設を会場とし、二次交通も活用して、次の事業を実施しました。

①作品展の開催: 米沢駅コワーキングスペース、山形駅ジョージヤマガタ、新庄駅ゆめりあを会場に各地区の本会会員による作品とプロフィール等をパネル展示しました。

②工房公開: 各地域の会員の工房(計12か所)を公開しました。

③鉄道利用の促進: 上記①・②への来場・参加に当たって、鉄道でのアクセス(時刻等)をQRコードでHPへ誘導して案内したほか、交通時刻表を作成して案内しました。

④関係団体等との連携: 米沢市で開催された「360° オープンファクトリー」との連携のほか、プレスリリースやラジオ番組での出演告知などにより開催と鉄道利用の広報に努めました。



事業の成果	・ 作品展は、駅又は近傍施設を会場として一定のにぎわいを創出するとともに、鉄道利用の広報を行ったことにより、わずかながら関心を集めることができました。 ・ 作品展会場間を鉄道で往来していただくきっかけづくりを目指し案内に努めましたが、在来線利用では乗り継ぎ連絡など時間的に極めて難しく、誘導することはできませんでした。 ・ 工房訪問者は近隣住民や自家用車利用で、鉄道及び二次交通利用は図られませんでした。 【来場者数等】 目標：550人 ⇒ 実績：426人 達成率 77.5% 内訳) 展示会：目標:300人 ⇒ 162人 うち鉄道利用者 30人 工房公開：目標:250人 ⇒ 264人 うち鉄道利用者 ほぼ0人 ・ 作品展の各会場とも40人以上の来場者があり「このような作家がいることを知らなかった」などの感想が寄せられたことから「工芸」の地域資源としての可能性が感じられます。さらに、連携した「360° オープンファクトリー」は全体で2300人以上の来場者があり、前年よりも拡大していることから工房(地場産業、工場)への関心は高まっていると思料されました。 ・ 置賜総合支庁から、村山・最上の総合支庁、そして、みらい創造部と連携を広げられました。
今後の展望	令和5年度の置賜地区開催を踏まえ村山・最上地区へ拡大し、各総合支庁の協力を得て広報にも努めましたが、置賜以外の来場者数は目標にとどかず、特に鉄道利用はほとんど成果を上げることができませんでした。この結果を分析し、開催時期や方法、広報などの改善を図るとともに、資金面では、やまがた社会貢献基金登録団体としての事業への追加等により支援獲得に努めながら、鉄道沿線地域の活性化、交流拡大へ開催継続を検討していきたいと考えます。 当会は、令和6年度に設立10周年を迎えました。今後とも一層効果的な方法を工夫しながら取り組みを進め、工芸に対する県民の理解を深め、山形の工芸文化の普及、文化振興、地域振興の一翼を担っていきたいと考えています。皆様の御支援をお願いします。



団体概要

団体名 やまがた工芸の会

代表者 和久井 修

URL <https://www.yamagata-kogei.com/>

設 立 2014年

正会員 27名 賛助会員 103名

※山形県内の工芸作家と、その活動を応援する皆様の会です。ご支援をお願いします。